

NHK「おはよう日本」、朝日新聞、Japan Timesなどが次々に特集！

## 5/9(土)映画『抱擁』出演、坂口すちえ氏が舞台挨拶

要介護からの奇跡の回復、実体験から学んだ老後を幸せに送る10の言葉

クリエイティブなどのプロフェッショナル・エージェンシー事業を展開する株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井川 幸広)が制作協力を行った、日本人の老後の現実と希望を描いた映画『抱擁』(英題:Walking with My Mother)の舞台挨拶が5月9日(土)、渋谷のシアター・イメージフォーラムにて行われます。本作の監督で、自らの母の介護にカメラを向けて記録した坂口香津美監督、一時、認知症を患いながらも奇跡的に回復した母すちえ氏、その回復の立役者の一人である宮園マリ子氏(すちえ氏の妹)が登壇いたします。

本作は、5月1日(金)放送のNHK総合「おはよう日本」の特集「記録映画は語る 突然の介護、あなたは?」として取り上げられ、大きな反響を呼びました。『抱擁』は坂口監督が、当時、78歳の認知症の母を4年間追った感動のドキュメンタリー映画。娘と夫を亡くし、老いの孤独と絶望、精神の混乱に陥った女性が、郷里の島の暮らしの中で、再び生きる希望を取り戻していくまでの姿を描いています。

第27回東京国際映画祭で上映されるや、衝撃のあとに押し寄せる深い感動、ユーモアと涙が観客を包み、話題に。先月行われた日本外国特派員協会での試写会・記者会見でも大きな反響と共感をよび、坂口監督に多くの外国人記者から熱心な質問が飛びかいました。4月30日(木)発売の「The Japan Times」でも坂口監督のインタビュー記事が大きく取り上げられています。また、6月2日(火)からドイツのフランクフルトで開催される世界最大の日本映画祭「NIPPON CONNECTION 2015」のNippon Visions部門のオープニングフィルムとして正式上映が決定いたしました。

日本の65歳以上の高齢者人口は、過去最高の3190万人で総人口に占める割合(高齢化率)は25.1%と過去最高(平成26年版内閣府「高齢社会白書」という現代社会。親が突然、介護が必要になった時、どうすれば良いのか。そして「第4の人生」ともいべき、高齢となり夫や妻を亡くし独りになった時、その後の人生をどう生きていくのか、「老後を幸せに生き抜く一つの答」を本作は提示しております。坂口監督が母の老後を撮影しながら学んだ「老後を幸せに送る10の言葉」は、高齢化社会日本を救う一筋の光となることでしょう。 **\*是非、この機会に取材をご検討くださいますようお願いいたします。**

### 映画『抱擁』舞台挨拶 概要

映画の主人公である坂口すちえ氏(監督の実母・84歳)と妹の宮園マリ子氏(出演者・監督の叔母・すちえ氏を介護)が長女の墓参のために種子島から上京、映画上映後に登壇予定です。深まる老いの中で長女と夫を亡くし、精神の混乱、錯乱から、再生するまでの6年間に息子が母に語りかけます。

#### ◆登壇者

坂口すちえ氏(出演・監督の実母)、宮園マリ子氏(出演・坂口すちえ氏の妹)、坂口香津美監督

#### ◆場所:シアター・イメージフォーラム 東京都渋谷区渋谷2-10-2

地図: <http://www.imageforum.co.jp/map/>

#### ◆日時:5月9日(土)

10:30～ 映画『抱擁』上映開始(93分)

11:30～ \*マスコミ受付

\*当日取材連絡先

長谷川:090-4094-9082

落合:090-2621-3736

12:03～12:15 舞台挨拶



坂口すちえ氏(左)、宮園マリ子氏(右)

\*坂口香津美監督...TVドキュメンタリーを約200本企画構成演出。映画は『ネムリユスリカ』『夏の祈り』など6作を監督。次回作、津波で家族を失った幼い姉妹の心の旅路を描く劇映画『シロナガスクジラに捧げるバレエ』(音楽:海野幹雄、新垣隆)が今年9月下旬よりユーロスペースにて公開。

### 映画『抱擁』上映情報

シアター・イメージフォーラムにて公開中(以降大阪、鹿児島、名古屋ほか全国順次公開)

5/7(木)、5/8(金) 10:30、21:15

[5/8(金)21:15の回上映後、ヴィヴィアン佐藤氏と坂口監督のミニトーク開催]

5/9(土)～5/29(金)10:30

毎回、英語字幕入り上映となります。

### 映画『抱擁』メディア掲載情報

NHK「おはよう日本」特集: <http://www.nhk.or.jp/shutoken/ohayo/report/20150501.html>

The Japan Times: <http://www.japantimes.co.jp/culture/2015/04/29/films/life-death-japans-aging-women/#.VUsQudLtmko>

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

社名:株式会社クリーク・アンド・リバー社

本社:東京都千代田区麹町2-10-9 C&Rグループビル

設立:1990年3月

代表者:代表取締役社長 井川 幸広

ネットワーク:東京・大阪・札幌・仙台・大宮・横浜・名古屋・京都・高松・広島・福岡・熊本・那覇/ソウル・上海・北京

事業内容:クリエイティブ・建築・ファッションのプロフェッショナルに特化したエージェント、プロデュース、アウトソーシング、著作権及びコンテンツの管理・流通。グループには、医療・IT・法曹・会計分野がある。

URL:<http://www.cri.co.jp> | <http://www.creativevillage.ne.jp> (クリエイターのための情報サイト「CREATIVE VILLAGE」)

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社スーパーサウルス(製作配給) 担当:落合 [info@supersaurus.jp](mailto:info@supersaurus.jp)

TEL:03-3551-5530 FAX:03-6893-6516 :090-2621-3736

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 [creek@hq.cri.co.jp](mailto:creek@hq.cri.co.jp)

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<http://www.cri.co.jp>